

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-1 子どもの権利の尊重

1-1-1 子どもの権利

				22.4月組 組織改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0701	1 重-1	子どもの権利に関する条例の策定 子どもの視点に立ち、子ども一人ひとりの最善の生き方を地域で実現することの基本となる「子どもの権利に関する条例」を策定する。 子どもの権利に関する条例策定委員会と引き続き連携しながら、条例策定に向けて市民の関心を高めるための広報活動をすすめていく。	継続	子育て支援課	休止	子どもの権利に関する条例策定について、平成20年1月から調査・検討を重ねてきた。その間様々な意見をいただいたことにより、平成23年度から委員会の活動を休止した。
0701	2	子どもの権利擁護のための啓発と広報の充実 市報やホームページ等を通じて、子どもの権利擁護についての啓発を行う。 子どもが参加できる機会や時期をとらえ、子どもの権利について理解を深めるために、児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）及び子どもの権利に関する条例の啓発活動を充実する。同時に、子どもの権利について、職員・教員や市民への研修会の開催、情報提供及び広報活動に努める。	継続	子育て支援課	実施	ホームページ等による広報
1503				教育指導課	継続	・東京都教育委員会が全教職員を対象に配布している「人権教育プログラム」の「児童の権利に関する条約（抜粋）」を活用し、市教委主催の教員を対象とした研修を行い、人権教育の指導方法の理解を深めた。
0403		人としての権利を尊重する教育の推進 外国人や障害者・高齢者など、お互いの違いを認め合う意識を育む教育の推進と、すべての教育活動を通じた人権・障害者理解の取り組みを地域や学校で推進する。 関係部署の連携を強化し、各学校に中核となる教員を育成する研修実施等を推進していく。		文化振興課		
0404	3	(再掲)4-3	継続	協働コミュニティ課	継続	「人権の花」「人権メッセージ」「人権作文」など小中学生を対象とした人権啓発活動の実施（人権擁護委員との共催）
1503				教育指導課	実施	・市立学校において人権教育の全体計画及び年間指導計画に基づき、全教育活動を通して人権教育を実施する。特に、総合的な学習の時間などで障害者理解の学習を行った。 ・人権教育推進委員会に各学校の担当者の出席を求め研修を実施し、その成果を各学校で周知した。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-1 子どもの権利の尊重

1-1-2 子どもの生活支援

				22.4月組 組織改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0703	1 重-3	<p>児童館の再編成と機能の充実</p> <p>施設の建替えや改修を計画的にすすめる。児童館を、乳幼児・障害児・中高生等の多様なニーズに応えていくため、地域や役割ごとに機能を特化・充実させ、夜間や休日にも利用できるなど、魅力ある児童館へ再編成していく。同時に、運営方法についても子ども参加を推進したり、民間活力を導入する。子ども自身からの相談を受け止める児童館としての特性を十分に活かし、相談事業をより一層推進していく。</p> <p>(再掲)1-2-2、4-1-1、4-4</p>	継続	児童青少年課	継続	児童館再編成計画は平成25年度上半期中での完成を目指して、児童館再編成計画の作成に取り掛かった。また、中高生へのヒアリング等を実施して例月の事業計画を展開するなど、子どもの参画を進めた。
0703	2 重-6	<p>青少年センター機能の整備</p> <p>児童館の再編成の中で、中高生や青少年の居場所施設としての青少年センター機能を付加した特化型児童館を整備していく。青少年自身の企画・運営への参加を検討するとともに、青少年の学校外活動の情報収集、情報提供、子どもに関する相談活動等を行い、インターネット等を利用して活動の情報を提供する</p>	継続	児童青少年課	継続	中高生委員会の立ち上げ等、利用者の意見を取り入れた事業展開を行った。
0704	3	<p>家庭教育支援事業の推進</p> <p>親自身が親役割を理解し、主体的に家庭教育に取り組んでいく力をつけていけるよう、学校・保育園・幼稚園・児童館・学童クラブ・公民館等が連携し、家庭教育支援事業に取り組む。また、家庭の教育力を高める方策の一つとして、家族それぞれが多様な形で参画可能な事業展開を推進する。</p> <p>(再掲)3-2-2(1)</p>	継続	子ども家庭支援センター	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹型保育園と連携し、子育て情報の提供を行った。 ・子育て広場で父親に対する支援事業を12回実施した。
0702				保育課	実施	基幹型保育園において、グループ交流、子育て講座を実施し、子育て家庭の支援を行った。各園平均4,000人(延人数)の参加があった。
0703				児童青少年課	継続	児童館における各種イベントや、学童クラブにおける父母会共催行事の際の父親への協力要請と参画の積極的な呼びかけを引き続き図った。
0605				健康課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー学級(1コース2日間)を全て土曜日を含むコースにし、夫婦で参加しやすい環境を整え、家庭としての子育てイメージを持ってもらいながら準備ができるよう支援していく。また、その他の事業も引続き妊産婦や乳幼児の健康増進のための知識の普及等を行っていく。
1603				公民館	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関する講座を6講座、述べ90回、親子がふれあう機会を提供する講座11講座を延べ22回実施した。 ・保育付のサークル22団体の活動を支援した。 「お父さんと味噌作りに挑戦しよう」を実施し、父と子18人が参加した。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-1 子どもの権利の尊重

1-1-3 子どもの救済

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	担当課	22.4月組織改正	24年度
						実績
0701	1重-1	<p>オンブズパーソン制度(いじめなどからの子ども救済システム)の具体的検討</p> <p>いじめや不登校など、何らかの問題に遭遇した子どもたちからの相談が身近な場所でいつでも安心してできるよう相談体制を充実させる。 子どもの権利侵害に対して相談を受け、権利侵害があった場合に実態の調査・勧告・提言の権限を持って子どもに寄り添った対応をするため、子ども自身が相談できる子どもオンブズパーソンを具体的に検討する。</p>	継続	子育て支援課	継続	調査検討
0704	2重-11	<p>要保護児童対策地域協議会の活用</p> <p>要保護児童対策地域協議会の一環としての「実務者会議」を充実させ、ブロックごとに要保護児童等への支援が提供できるしくみを整備していく。 虐待される子どもの救済に迅速・有効に行動できるよう、関係機関のネットワークを強化していく。</p>	継続	子ども家庭支援センター	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・実務者会議を充実させるため基幹型保育園地域子育て支援センターの構想とリンクした形で、各ブロックで実務者会議を実施した。 ・個別ケースの支援を協議するためケース検討会議を61回実施した。 ・ケースの支援内容を確認するため、母子保健機関や教育機関等と進行管理会議を行った。
0704	3	<p>虐待・虐待再発防止のための学習機会の検討</p> <p>虐待や虐待の再発を防止するため、親を対象とした学習の機会等を充実させる。</p>	継続	子ども家庭支援センター	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭支援センター職員1名が児童福祉司任用資格認定講習会に出席し、全相談員が任用資格を取得した。 ・児童虐待防止月間中に、市民まつり参加者を対象に虐待防止普及活動を実施した。
0704	4	<p>里親制度(養育家庭)の推進</p> <p>その役割や拡充が一層求められる傾向にある養育家庭・里親制度について広報・啓発をさらにすすめるため、関係部署との連携協力を努める。</p>	継続	子ども家庭支援センター	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・養育家庭体験発表会を開催し、参加者は27名であった。 ・東京都作成の啓発ポスターを関係機関に配布した。発表会を市広報に掲載することにより、制度の啓発を行った。
1505	5	<p>スクールカウンセラー派遣の充実と連携の強化</p> <p>中学校には、東京都のスクールカウンセラーが配置されているが、同様に小学校にも配置されるよう東京都に要請していく。また、小学校に派遣している心理カウンセラーとの連携を強化し連絡会を開催するなど、いじめや不登校等の問題に対応する体制づくりを一層推進する。 (再掲)4-3</p>	継続	教育支援課	充実	都スクールカウンセラーが配置されていない小学校には、引き続き教育相談センターから心理カウンセラーを派遣した。都に対しては、全小学校へのスクールカウンセラーの配置の要望を引続き実施した。結果、平成25年度から中学校と同様に全校に配置することとなった。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-1 子どもの権利の尊重

1-1-3 子どもの救済

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	24年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容
0703	6	<p>地域アドバイザーの活動支援と連携の強化</p> <p>小学校や児童館などで活動している心の東京革命推進協議会地域アドバイザーとの連携を強化し、活動の支援を推進する。</p>	継続	児童青少年課	継続	児童館が行う子育てひろば事業の一貫として「のびのび親子」と題した子育て支援事業を実施するなかで最終回において「心の東京塾」を実施した。ぼしあーも（早期からのしつけ後押し事業）
1505	7	<p>スキップ教室(適応指導教室)の充実</p> <p>いじめや情緒的混乱、学業不振等により不登校になっている子どものためのスキップ教室(適応指導教室)を充実し、学習支援や学校生活復帰への援助を在籍学校と連携して行う。入室児童・生徒数の増加に対応するため、教員・教室の整備等を長期的展望に基づいて推進する。</p>	継続	教育支援課	継続	児童・生徒の社会的な自立を目指し、個別の教科指導・生活指導及びカウンセリング機能の充実を図った。そのために、入室検討会議、ケース会議を十分に行い、児童・生徒の理解に基づいた通室目標や指導方針を明確にしてきた。在籍校とは担任連絡会だけでなく、定期的に連絡調整や情報交換を行い、連携を行って来た。
0704	8	<p>子ども自身からの相談に対応できる相談システムの検討</p> <p>子どものための相談窓口について子どもからの認知度があがるように広報活動を強化する。子どもが相談しやすい方法を探るため、電話・インターネットで相談できる体制を検討する。</p>	継続	子ども家庭支援センター	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・小学5年生、中学2年生にのどか携帯用カードを約3000部、小学4年生から中学3年生までにリーフレットを約9100部配布した。 ・市ホームページのキッズページに子ども家庭支援センターの案内を継続して掲載した。 ・市民まつりで、のどかのパンフレットを配布し、相談先についてのPR活動を行った。
1999				関係各課		
0701	9	<p>子ども自身が身を守るための学習プログラムの推進</p> <p>子どもが犯罪の被害者にならないように、子ども自身が暴力から自分の身を守ることを学習するプログラムの実施を推進する。</p>	継続	子育て支援課	継続	検討
1999				関係各課		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子どもの参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-1子どもを支える地域のシステム

				22.4月組 組織改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0703	1 重-2	<p>子どもによる子どものための企画づくりと事業運営の推進</p> <p>児童館や公民館、地区会館、いこいの森公園など、公共施設の事業企画・運営・利用への子ども参加や子どもだけで利用できる方法を検討し、子どもが遊びたくなるような遊び場について具体的に検討する。指定管理者に管理を委託している施設については、次期指定管理更新時期等に子どものための事業に関する提案を管理者に依頼することを検討する。</p> <p>また、子どもの意見を聞く場として、子どもへのヒアリング、意見発表会、子ども議会などを具体的に検討する。</p>	継続	児童青少年課	継続	児童館行事の一つの「中高生年代プロジェクト」等において、子ども主体の実行委員会を組織し主体的な発想の運営を引き続き実施した。ミュージック・パーティ・イン西東京については、実施団体からの事業の実施ができない旨の申し出があったため、下保谷児童センターにて児童館事業として、子ども参画によるミュージック・ダンスフェスを実施した。
1603				公民館	継続	・継続的に活動する高校生以上の団体であれば、団体登録が可能であり、部屋の利用を認めている。 ・保谷駅前公民館の音楽練習室は、若者の利用が定着している。
0403				文化振興課	なし	特になし
0802				みどり公園課	検討	検討
0701				子育て支援課	検討	検討
1999				関係各課		
0703				2 重-3	<p>児童館の親子で参加できる行事や企画の充実</p> <p>児童館事業として、親子で参加できる行事や企画を今後も継続し、充実する。</p>	継続
0703	3 重-2	<p>子ども調査の推進</p> <p>子どもたちがいつも使う施設について、利用のしやすさや事業内容等を定期的に評価し、改善提案等をしていく子ども調査の継続と意見反映システムを、魅力ある施設づくりのための条件と位置付けて推進する。</p>	継続	児童青少年課	継続	中高生が企画・実施した事業の反省会等を実施し、自ら評価して、次回へつなげる形を作った。
1604				図書館	継続 充実	“図書館の事業評価のなかで、定期的な評価を実施した。それに基づき、YA資料の充実などをはかった。”

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子どもの参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-1子どもを支える地域のシステム

				22.4月組 組織改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0703	4 重- 16	防犯対策の充実 市内の公・私立学校関係者による連絡会の設置や合同パトロール・下校時間における防犯パトロールの実施、民生委員・児童委員、青少年育成会との定期的な協議と内容の充実を図る。 また、不審者情報のネットワークづくりをすすめ、市内の犯罪発生状況に応じた各種情報を発信・共有するしくみを構築する。 「できる人ができる時に・地域の目を光らせる見守り活動」を根付かせ、地域の防犯力を向上させることを通じて子どもへの見守りを強化する。 防犯講演会などの啓発活動を実施して、防犯意識の高揚を図る。 (再掲)4-4	継続	児童青少年課	継続	青少年育成会による通学路における「あいさつ運動」や「合同パトロール」などへの活動支援を実施した。危機管理室や市内全小学校と連携し、不審者情報等の共有を図った。
1503				教育指導課	継続	・市内全小学校の学校安全連絡会において、引き続き、地域支援による安全確保の取組を行った。 ・スクールガードリーダーを委嘱して全校を巡回して指導し、より安全対策の質を高める取組を行った。 ・安全教育の充実を図り、危険を予測し回避する能力を身に付けさせる指導を行った。
0411				危機管理室	継続	・下校時間帯における青色防犯パトロールの実施。 ・GW、全国地域安全運動期間中における地域合同パトロールの実施。 ・市報、ホームページ、各小学校に設置している防犯掲示板による広報啓発活動。 ・防犯活動団体への補助金交付及びリーダー連絡会の開催。 ・小学校における地域安全マップ作製支援の実施。 ・犯罪発生時における防犯活動団体などへのパトロール強化依頼の実施。
1999				関係各課 (警察)		
0703	5 重- 16	子どもと子育て家庭の防災防犯安全を確保する事業の推進 災害が発生した際に子どもと子育て家庭への支援を実施する体制を整備する。 子どもがふいに襲われたりしたときなどに逃げ込める家を公募し、ステッカーなどを貼ってもらい、子どもの避難所とする事業(子ども110番ピーポくんの家)を引き続き推進すると同時に、ピーポくんの家活動に対する市民の理解を得るための啓発活動を実施する。 小学校区の地域単位に安全確保のための見守り活動の組織化を促進し、地域住民と子ども自身による通学路の安全点検活動を推進する。 (再掲)4-4	継続	児童青少年課	実施	・学童クラブ事業における災害時のインターネット上掲示板「安心伝言板」サービスの開始した。 ・「子ども110番ピーポくんの家」活動への支援の継続と市民周知を図った。
0411				危機管理室	継続	・災害時要援護者登録名簿登録申請の受付 ・公的関係機関等への災害時要援護者名簿の提供 ・災害時要援護者個別支援プランのモデル地区選定 ・救急医療情報キットの配布

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子どもの参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-1子どもを支える地域のシステム

				22.4月組 組織改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0703	6 重-3	プレイリーダーの養成と活用 プレイリーダーの育成事業を実施する。また、小学校での「遊びの学校」事業や、地域の子どもの遊び支援グループなどに対する、プレイリーダー(子どもの遊びや活動の支援者)派遣事業を推進していく。また、中学生対象の遊びの事業を充実する。 (再掲)1-2-2、3-2-2-(1)、4-4	継続	児童青少年課	継続	民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内大学・高校などに働きかけを行い養成講座を実施した。養成講座終了後のアウトプットの場として、市民まつりの児童館ブースで子どもたちを相手に遊びを提供したところ、児童館ブースに例年以上の来場者がくるなど、成功に終わった。
1601				社会教育課	検討	・プレイリーダー育成後の活用について、児童青少年課と協議した。
0402	7	農業体験の拡充 市内農業者の協力により、イベント等を通じて、土とふれあいながら農家の人と一緒に作付けや収穫などを体験できる機会を拡充する。 (再掲)1-2-2	継続	産業振興課	実施	(1)「親子で野菜づくりにチャレンジ」事業を実施。参加者は、親子20組40名。 (2)「西東京市都市と農業が共生するまちづくり事業実施計画」に基づく、【農のアカデミー体験実習農園】圃場での保育園・幼稚園・小学校単位での参加による農業事業を実施。延べ2,000以上の事業参加があった。
0703	8	青少年育成会への支援の充実 青少年育成会の活動支援とともに、相互の交流活動等を支援することで、子ども同士や親も含めた地域社会との関わりをより広く体験できるようにする。	継続	児童青少年課	継続	・青少年育成会への支援を継続実施し、市報の1面に広報記事を掲載した。 ・育成会連絡会全体事業「歩け歩け会」への支援を継続実施した。
0701	9	地域の子育て協議会の設置 子育て家庭同士、さらには地域で子育てに関心を持っている人々をつなぐ「子育てグループの集い」を開催する等、地域のつながりを深める交流事業を検討する。	継続	子育て支援課	実施	子育てハンドブックに子育て関連団体の情報を掲載
0404		子育ての仲間づくり、子育てNPO・グループ等の支援の充実 市民協働推進センターと地域活動情報ステーションを核として、「子育てひろば」などから生まれた親子グループの自主的な活動の支援や、学童クラブの午前開放など、場所と情報の提供により、子育て中の親たちが気軽に集い、打ち合わせ、情報交換できる場づくりに努める。 子育てサービスの提供機会を増やしその選択肢を広げるため、子育てNPOや子育てグループ等の活動環境を充実させる。 (再掲)3-2-1		協働コミュニティ課	継続	・NPO等企画提案事業を通して、子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体の活動を支援する。 ・子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体や自分が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民が市民活動に参加しやすい環境の充実を図るため、市民協働推進センターを運営する。 ・子育て分野で活動しているNPO等市民活動団体や自分が望む子育て環境を自らの手でつくり出そうとする市民の情報環境を整備するために、地域活動情報ステーション(市民活動支援ホームページ)を活用した。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子どもの参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-1子どもを支える地域のシステム

				22.4月組 組織改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0702	10		継続	保育課	実施	基幹型保育園に設置された地域子育て支援センターにおける子育て家庭や親子グループの交流の場の提供。また、保健師や栄養士のコメンタリーを載せた情報誌を発行した。
0704				子ども家庭支援センター	継続	・2ヶ所の広場で気軽に集える親子の交流の場を提供した。 ・父親支援事業を12回行い、延456人が参加した。 ・子育てグループ活動室の貸出を行い、延404グループが利用し、活動した。
0703				児童青少年課	継続	市内全児童館において子育て支援事業を継続的に実施する。また、単設の学童クラブ施設を活用した乳幼児親子を対象とした出前児童館事業も継続的に実施した。 市民と共催で地域での子育てをテーマにした「こそだてフェスタ」を実施し、子育て世代への支援を行った。
2002				社会福祉協議会	実施	地域活動拠点での学生の子育てグループを支援した。 「歳末たすけあい・地域福祉募金」の配分金を活用して、子育て（支援）グループに助成金を交付した。（6団体） 子育てサロン開設講座を実施した。 子育てグループの情報をホームページに掲載して情報提供を行った。 子育てフェスタに協力した。
0402	11	地域通貨の活用の検討 子どもたちが地域でのボランティア活動などを通じて社会参加できるしくみとして、地域通貨の活用を「産業振興マスタープラン」の策定内容と連携して検討する。	新規	産業振興課	実施	西東京商工会が発行する西東京市プレミアム商品事業については、事務事業評価の結果を踏まえて当初予算には計上しなかったが、商工会や議会などの要請も踏まえて補正予算を計上した。平成24年11月18日から平成25年1月31日を使用期限とする補助事業を実施した。 「市内共通スタンプ(ICカード)等の調査・研究」については、平成23年度に引き続き検討を行い、とりまとめた内容について、西東京市と市内の商店街で行う西東京市商店会連絡会に報告した。
0701				子育て支援課	検討	調査検討

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子どもの参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-1子どもを支える地域のシステム

				22.4月組 組織改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
1601	12	地域の人材発掘・活用の推進 子どもたちの地域での育ちを豊かなものにするため、さまざまな立場の市民が自分の経験や知識を生かして子どもたちに技や学びを伝えられるよう、地域人材の情報提供や、人材が活躍できる機会づくりを促進する。 人材発掘と人材活用事業の推進を並行して実施し、都立高校との連携や小中学校対象の各種教室の開催等を引き続き実施する。	継続	社会教育課	実施 充実	・人材情報の収集整備を行った（平成25年3月31日現在68人、128件登録） ・市民の人材情報の活用を促進するため、生涯学習人材情報登録者の自主企画講座一覧（平成25年3月31日現在28人から47講座の登録）を作成し、公民館・学校等関係機関へのPR、周知を図った。
2002				社会福祉協議会	実施	都立高校の奉仕活動授業での講演（保谷）。 小学校での総合的な学習の時間における福祉体験授業（11校26プログラム、車椅子体験・アイマスク体験・手話体験・点字体験・視覚障がい者講演・盲導犬利用者講演）を登録ボランティア・ボランティア団体などと実施。
2003				シルバー人材センター	実施	小中学生対象各種教室の開催（継続） ○東伏見教室 その他教室 小学生習字 ○西原教室 学習教室 小学生算数・国語 中学生英語・数学 小学生対象夏休み無料手芸教室の開催（継続）
1999				関係各課		
0701	13 重-2	ファシリテーターの養成と活用 社会活動への子どもの参加を促進するために、ファシリテーターの育成事業を検討実施する。また、子どもの意見を取り入れ、参加を促進する場面へのファシリテーターの活用を検討していく。	新規	子育て支援課	検討	検討

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-2集う・遊ぶ・学ぶ

所管課番号	番号	施策・事業名及び内容	継続/新規	22.4月組織改正	24年度	
				担当課	実績	具体的な取り組み内容
0403	1 重-2	<p>子どもの公共施設利用促進の方法の検討</p> <p>公共施設や事業の企画・運営・利用への子どもの参加や、年齢に応じた子どもだけでの利用を進める。 また、利用料の減免、利用申込資格など、子どもが利用しやすい運営を検討する。</p>	継続	文化振興課	実施	指定管理者4館（南町、緑町、芝久保、ふれあい）と東伏見コミセンにおいて、子どもが利用しやすいようにロビーや会議室を一部開放している。特に、東伏見コミュニティセンターでは、集会室や調理室を子どもに貸出し、音楽やダンスの練習、調理をする場所として定着している。
0703				児童青少年課	継続	子どもたちが主体となる実行委員会や中高生委員会等を組織し、児童のニーズに合った事業を展開するとともに事業完了後反省などでニーズ把握や意見交換を行った、
1603				公民館	検討	継続的な利用を行う高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。また、学級活動などの利用については、単年度での団体登録も可能としている。利用は、無料
0101				企画政策課	検討	「公共施設の適正配置等を推進するための実行計画」に基づき、子どもたちを含めた幅広い世代のニーズを考慮しながら、市内全体の公共施設の適正配置・有効活用についての検討を進めた。
1999				関係各課		
0703	2 重-2	<p>子どもによる子どものための企画づくりと事業運営の推進（再掲）</p> <p>児童館や公民館、地区会館、いこいの森公園など、公共施設の事業企画・運営・利用への子ども参加や子どもだけで利用できる方法を検討し、子どもが遊びたいような遊び場について具体的に検討する。指定管理者に管理を委託している施設については、次期指定管理更新時期等に子どものための事業に関する提案を管理者に依頼することを検討する。 また、子どもの意見を聞く場として、子どもへのヒアリング、意見発表会、子ども議会などを具体的に検討する。</p>	継続	児童青少年課	継続	児童館行事の一つの「中高生年代プロジェクト」等において、子ども主体の実行委員会を組織し主体的な発想の運営を引き続き実施した。ミュージック・パーティ・イン西東京については、実施団体からの事業の実施ができない旨の申し出があったため、下保谷児童センターにて児童館事業として、子ども参画によるミュージック・ダンスフェスを実施した。
1603				公民館	継続	・継続的に活動する高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。 ・保谷駅前公民館の音楽練習室は若者の利用が定着している。
0403				文化振興課	なし	特になし
0802				みどり公園課	検討	検討
0701				子育て支援課	検討	検討
1999				関係各課		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-2集う・遊ぶ・学ぶ

				22.4月組 織改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0802	3 重-2	子ども参加型ですすめる遊び場づくりの推進 公園等の遊び場の設置・改善を子どもが企画等を中心に行う子ども参加型ですすめ、子どもが遊びたくなるような遊び場について具体的に検討する。	新規	みどり公園課	検討	検討
0701				子育て支援課	検討	検討
0703	4 重-2	子ども参画による生涯学習事業の推進 子どもが対象となる生涯学習事業については、児童館や公民館等と連携し、企画・運営への子ども自身の参画の推進を図る。	継続	児童青少年課	継続	児童館行事の一つの「こどもまつり」等において、こども主体の実行委員会を組織し主体的な発想での運営を実施した。また、高校生年代のスタッフが中心となって企画・運営する「中高生年代プロジェクト」や音楽イベント等を実施した。
1603				公民館	継続	・継続的に活動する高校生以上の団体には、講座室の利用を認めている。 ・保谷駅前公民館の音楽練習室は若者の利用が定着している。
0703	5 重-3	児童館の再編成と機能の充実(再掲) 施設の建替えや改修を計画的にすすめる。児童館を、乳幼児・障害児・中高生等の多様なニーズに応えていくため、地域や役割ごとに機能を特化・充実させ、夜間や休日にも利用できるなど、魅力ある児童館へ再編成していく。同時に、運営方法についても子ども参加を推進したり、民間活力を導入する。子ども自身からの相談を受け止める児童館としての特性を十分に活かし、相談事業をより一層推進していく。 1-1-2、(再掲)4-1-1、4-4	継続	児童青少年課	継続	児童館再編成計画は平成25年度上半期中での完成を目指して、児童館再編成計画の作成に取り掛かった。また、中高生へのヒアリング等を実施して例月の事業計画を展開するなど、子どもの参画を進めた。
0703	6 重-3	「遊びの学校」事業の検討・実施 現行の小学校の校庭開放、地域生涯学習事業、出前児童館との連携を図りながら、放課後の子どもの安全・安心の活動拠点、居場所事業として「遊びの学校」事業を、国の「放課後子どもプラン」を視野に入れながら検討・実施する。実施にあたっては、地域の育成会や関連団体、地域市民の協力や参加を得ながら小学校施設を活用し、子どもが安心して集い・遊び・学べる場所とするためにプレイリーダーを配置していく。 (再掲)3-2-2-(2)、4-4	継続	児童青少年課	継続	出前児童館の開催や育成会と協力した行事などを継続的に実施した。放課後子ども教室は、2/19校で開設され情報共有を行う程度であった。
1601				社会教育課	実施	・放課後子供教室の都補助申請を実施した。 ・学童クラブとの連携を図るため、児童青少年課と協議を行った。
0703	7	屋外の遊び場の充実 西東京市の環境における自然遊び場について検討する。公園の使用にあたっては、子どもの遊び支援グループなどと協働するとともに、プレイリーダーの派遣を推進する。 (再掲)4-4	継続	児童青少年課	継続	民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内大学・高校などに働きかけを行い養成講座を実施した。養成講座終了後のアウトプットの場として、市民まつりの児童館ブースで子どもたちを相手に遊びを提供したところ、児童館ブースに例年以上の来場者がくるなど、成功に終わった。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2 子ども自身の参画への支援

1-2-2 集う・遊ぶ・学ぶ

所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	22.4月組 織改正	24年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0802				みどり公園 課	実施	子供たちが自然に親しむ場として、下保谷四丁目の屋敷林を特別緑地保全地区として指定した。
0703	8	プレイリーダーの養成と活用(再掲) プレイリーダーの育成事業を実施する。また、小学校での「遊びの学校」事業や、地域の子どもの遊び支援グループなどに対する、プレイリーダー(子どもの遊びや活動の支援者)派遣事業を推進していく。また、中学生対象の遊びの事業を充実する。 1-2-1、(再掲)3-2-2-(1)、4-4	継続	児童青少年課	継続	民間の専門事業者(NPO)に講師を依頼し、市内大学・高校などに働きかけを行い養成講座を実施した。養成講座終了後のアウトプットの場として、市民まつりの児童館ブースで子どもたちを相手に遊びを提供したところ、児童館ブースに例年以上の来場者がくるなど、成功に終わった。
1601				社会教育課	検討	・プレイリーダー育成後の活用について、児童青少年課と協議した。
0701	9	中学校の余裕教室を活用した「自習室」事業の検討 放課後や休日の中学校の教室を活用して自習室やグループ学習室への開放事業、地域のボランティアと協力した中学生の自主的活動などを検討する。	新規	子育て支援課	検討	調査検討
1999				関係各課		
1602	10	屋内の居場所の充実 総合体育館やスポーツセンターの個人開放事業を推進する。	継続	スポーツ振興課	実施	スポーツセンター個人開放事業(バスケットボール・バレーボール・バドミントン・卓球) 総合体育館個人開放事業(バスケットボール・バドミントン・卓球) きらっと個人開放事業(バスケットボール・ソフトバレーボール・バドミントン・卓球・社交ダンス) 上記の事業は指定管理者が実施。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-2集う・遊ぶ・学ぶ

				22.4月組 織改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0402	11	各地域に小さい拠点(居場所)づくりの推進 「街なかサロン事業」と連携し、市内の店舗や民家等の一角を提供してもらい、談話コーナーやパソコンの設置等により、気楽に情報検索や語らえる場づくりを検討する。 子どもに理解がある地域協力者を募り、家や部屋開放など、地域の中に居場所づくりをすすめる。	新規	産業振興課	未実施	予算措置なし。
0701				子育て支援課	検討	調査検討
2002				社会福祉協議会	実施	地域活動拠点の活用。 武蔵野大学の学生の協力を得て、親子の居場所づくりを行う。 (街なかサロンにここにて実施) 地域住民による持ち寄り昼食会の中で、高齢者と親子の交流を図った。(芝久保サロンしゃくなげにて実施) 「子育てサロン」を地域の中で実践できる人材を発掘、養成するために開設講座を実施した。 夏！体験ボランティア西東京2012を実施(小学生～社会人156名参加)
0703	12	出前児童館の充実 地域特性を考慮し、出前児童館事業を推進する。実施に際しては子ども参画を視点に入れ、学童クラブや学校との連携を深めながら内容の充実を図る。 (再掲)4-1-1	継続	児童青少年課	継続	伝承遊びや集団遊び等地域特性に応じた出前児童館を実施した。
0403	13	音楽練習室等活用の推進 音楽練習室の子どもによる利用を促進するとともに、施設の拡充を引き続き検討する。	継続	文化振興課	実施	東伏見コミュニティセンターでは、音楽を練習できる集会室の利用の内、約8割が青少年の利用であった。
0703				児童青少年課	実施	市内の高校の軽音楽部の顧問へのPRやミュージック・ダンスフェスを新規で実施したことにより、新規利用者の開拓を行うことができた。
1999				関係各課		
1604	14	図書館の子どもスペースの充実 現在の子どもスペースの拡充、グループで談話しながら利用できる場、中高生の参加を得ながら図書館利用を推進する。	継続	図書館	継続実施	既存事業の継続的な実施。 中高生世代との共同編集事前説明会1回と共同編集会議6回を実施して、広報誌を3回発行した。
1604	15	図書館利用者交流会の検討 カウンターで直接、さらには投書での利用者の意見や要望の反映にとどまらず、選書や運営について意見を聞く場づくりを検討する。	新規	図書館	一部実施	講座・講演会・展示会開催時に行う利用者アンケート及び投書箱の設置等、の実施。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-2集う・遊ぶ・学ぶ

所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	22.4月組 織改正	24年度	
				担当課	実績	具体的な 取り組み内容
18			継続			
1603				公民館	実施	・主催講座の実施 「キッズアカデミーさき織体験編」 「キッズアカデミー 縄文体験 編」、「キッズアカデミー親子で 手作り凧揚げ編」「料理&食材 レッスン」「エコ紙とんぼ工作教 室」「キツネ君人形を作って遊ぼ う」「子ども料理講座 大豆ご飯と 魚料理にチャレンジ!」「子ども 文化体験講座 ～みんなで大正 琴を弾いてみよう」「ペーパーグ ライダーの工作と飛行実験」、 「身近な材料を使って手すきの 和紙をつくろう」「お手玉作りをお 裁縫からはじめると」「丸太切りと 木の実で立体工作」「ロボットを つくろう」
0701				子育て支援 課	検討	検討
1602				スポーツ振 興課	実施	体育の日に市民スポーツまつり を実施。 秋に少年野球大会、少年サッ カー大会を実施。 6月・12月に早稲田大学野球教 室を実施。 2月にロードレース大会を実施。 7月に小学生ドッジボール大会 3・4年生大会、2月に小学生ドッ ジボール大会5・6年生大会を实 施。(スポーツ推進委員) 3月に小学生ミニバスケットボ ール大会を実施。 7月・11月に少年・少女サッカー 教室、11月に少年・少女野球教 室を実施。(指定管理者) その他各種教室を通年で実施。 (指定管理者)

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2 子ども自身の参画への支援

1-2-2 集う・遊ぶ・学ぶ

				22.4月組 組織改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
2002	19	地域活動体験の拡充 青少年育成会等を通じて、子どもたちが地域の環境美化や福祉等のボランティア活動に参加できる機会を拡充する。 社会福祉協議会や地域の人材等と連携することにより、児童・生徒が主体的に取り組むボランティア活動を行い、人と関わる体験を深め、自主性・自立性を高める。	継続	社会福祉協議会	実施	「社会を明るくする運動～あいさつ強調週間」に協力。市立小中学校正門にて朝のあいさつ運動実施
0703				児童青少年課	継続	児童館において中学生の職業体験を受け入れた。各青少年育成会の実施する「どんど焼き」等子どもたちが地域活動体験が出来る場の支援を行った。育成会全体事業「歩け歩け会」における中学・高校生ボランティア参加の促進を図った。
1603	20	ものづくり体験の拡充 公民館での子ども向け事業に、子どもたちがものづくりを体験できる企画を拡充する。	継続	公民館	実施	講座の実施 「キッズアカデミーさき織体験編」「キッズアカデミー親子で手作り凧揚げ編」「エコ紙とんぼ工作教室」「キツネ君人形を作って遊ぼう」「ペーパーグライダーの工作と飛行実験」、「身近な材料を使って手すきの和紙をつくろう」「お手玉作りをお裁縫からはじめると」「丸太切りと木の実で立体工作」「ロボットをつくろう」
0403	21	各国の子どもが集える事業の検討 参加者の企画参加による、留学生と高校、大学、社会人を対象とする「多文化交流キャンプ」の検討と宿泊型キャンプ等を通じた国際理解の推進を図る。 地域の人々と各国の子どもたちや子育て家庭が集える祭り事業などを、既存のイベントの活用を図りながら検討する。	新規	文化振興課	実施	NPO等企画提案事業「世界とつながろうwith Kids」を実施。年3回実施。参加者(延べ):大人33人、子ども29人。
0701				子育て支援課	検討	調査検討
0403	22	青少年海外派遣事業の検討 青少年が世界に目を向け国際理解が進むように、青少年海外派遣事業を検討する。	新規	文化振興課	情報収集	派遣先や交流のあり方について各方面から情報収集を行った。
0701				子育て支援課	検討	調査検討

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2 子ども自身の参画への支援

1-2-2 集う・遊ぶ・学ぶ

				22.4月組 織改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0802	23	身近にボール遊びのできる場所の検討 身近にある公園や広場、校庭などが子どもにとって魅力的な場所になるよう、ミニバスケット、フットサルなど、気軽にできるスポーツの場の設置を推進する。 (再掲)4-4	継続	みどり公園課	検討	検討
1602				スポーツ振興課	実施	健康広場、芝久保運動場個人開放事業(指定管理者)
0703				児童青少年課	継続	ハード面の設置までは至らなかったが、遊戯室の利用を時間で区切るなどして、他種目のスポーツの実践に努めた。
0302	24	おとな利用が中心となる施設に子どもの遊び場併設の検討 おとな利用が中心となる公共施設に、子どもの遊び場の併設を検討する。	新規	管財課	実施 検討	保谷庁舎については、子供が市民広場の芝生で自由に遊べるようになっている。 田無庁舎については、昨年度と同様に既存施設内に余剰スペースが無いためスペースの確保、設置時の執務室等への影響等の検討を継続した。
0403				文化振興課	実施	・芝久保地区会館：児童館併設 ・南町・緑町地区会館：簡易図書室(個人利用可) ・コール田無：ピッコロ広場併設 ・西東京市民会館：夏季期間、学生に向けた学習室の拡大開放 ・保谷こもれびホール：公演時における保育機能あり
1603				公民館	実施	ロビーを自由に使って、子供同士の歓談や自主学习等は、既に行われている。
1999				関係各課		
1602	25	「総合型地域スポーツクラブ」事業の推進 子どもたちが放課後や休日に、公共施設や学校施設等でスポーツを楽しめるよう、「総合型地域スポーツクラブ」事業を推進する。	継続	スポーツ振興課	継続	補助金の交付や、市報を通じてクラブの事業をPRするなど、クラブの活動支援を実施。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-3子どもと情報

				22.4月組 組織改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
701	1 重-2	子ども参画による広報紙づくりの検討 公民館、図書館などの広報紙の取材や紙面づくり への子ども参加を検討する。	新規	子育て支援 課	検討	検討
1603				公民館	調査 検討	・職場体験の中学生が公民館だ よりの編集の一部を体験した。
1604				図書館	継続 実施	既存事業の継続的な実施。 中高生世代との共同編集事前説 明会議2回と共同編集会議6回を 実施して、広報誌を3回発行し た。
0103	2 重-4	市報や市のホームページの子ども向け情報の充 実 子どもにとって読みやすい市報づくりと子ども向け 情報の充実、さらには市のホームページの「キッズ ページ」を拡充する。	継続	秘書広報 課	継続	市報については担当課からの子 ども向け原稿に応じて、事業写真 やイラスト等を使い子どもたちに 理解しやすい紙面を心がけた。 また、ホームページについては、 前年に引き続き夏休みの時期に 「夏休み子ども向けイベント情報」 を設置、夏休み特集コーナーを 作成し、バナーを掲載した。
1999				関係各課		

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-3子どもと情報

				22.4月組 組織改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0103	3	子ども向け情報提供方法の検討 西東京市のホームページ等とリンクした子ども向けホームページの充実や、子どもへの広報を拡充する。 インターネット等で子ども向け情報を子どもたちが収集しやすいように、学校など子どもの身近な場所にパソコンを設置するように努める	継続	秘書広報課	継続	ホームページでは、前年に引き続き夏休みの時期に「夏休み子ども向けイベント情報」を設置、夏休み特集コーナーを作成し、バナーを掲載した。
1501				教育企画課	継続	教育委員会の広報「西東京の教育」において小・中学生の取材・執筆による「子ども記者コーナー」や「新・子ども記者コーナー」の記事を年度内発行の54号から56号まで掲載した。
1503				教育指導課	実子	・学校のホームページに関する教員対象の研修を実施して、教員のスキルアップを図った。 ・教員研修において引き続き「情報モラル教育」に関する研修を実施し、授業実践できるようにスキルアップも含めて教員の資質向上に努めた。
0701				子育て支援課	検討	調査検討
1503	4 (再掲)4-3	情報化社会に対応した子どものためのメディアリテラシー教育の推進 教科の学習や総合的な学習の時間でのコンピュータの活用など、多様な情報機器を活用した学習を推進するとともに、子どもと青少年が各年齢層に見合った方法で必要な情報に適切にアクセス・発信できるように、その成長発達段階に応じたメディアリテラシーの育成を推進する。	継続	教育指導課	実施	・情報教育担当者連絡会を年間2回実施し、情報教育の充実を図った。また、各教科の調べ学習や総合的な学習の時間では、各学校の指導計画に従って、コンピュータを活用して指導を実施した。 ・各学校の実態に応じて、情報教育年間指導計画に基づいてメディアリテラシーの育成を図るために計画・指導の改善充実を図った。

子育て支援計画（平成22～26年度）進捗状況調査票

1 子ども参加

1-2子ども自身の参画への支援

1-2-3子どもと情報

				22.4月組 組織改正	24年度	
所管 課番 号	番号	施策・事業名及び内容	継続/ 新規	担当課	実績	具体的な 取り組み内容
0403	5 重-4	すべての子どもに必要な情報を届けるしくみの整備 日本語を母語としない子どもや、障害のある子どもが必要な情報にアクセスしやすい方法やしくみについて検討する。	新規	文化振興課	実施	市報から必要な情報を抜粋し、平易な日本語及び英語・中国語・ハングルで毎月1回「くらしの情報」を発行した。毎月560部。
1999				関係各課		
1503	6 重-4	有害情報からの子どもの保護 有害情報から子どもを保護するための方策やシステムを検討する。	新規	教育指導課	実施	各校で、セーフティ教室や総合的な学習の時間等において、情報教育の一環として、有害情報に関する指導を実施した。東京都教育委員会が実施している「学校非公式サイト等の監視」結果を各校に送付し具体的な地頭として活用した。
0703	6 重-4			児童青少年課	継続	東京都が作成している「ファミリールール講座」のリーフレットを窓口に置き啓発した。児童館利用の児童との会話の内容により適宜eルールの話をした。